

土サミット FUKUOKA2023 ～ 現地見学会 ～



- 開催日時:2023年10月27日(金) 9:00～15:50(予定)
- 見学地:◇佐賀道路軟弱地盤対策工事現場
◇国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所朝日出張所
◇吉野ヶ里歴史公園
- 主催:(一社)全国建設発生土リサイクル協会(JASRA)
- 定員:60名
- 参加費:7,000円(食事代2000円、吉野ヶ里歴史公園・入場料を含む)
- 参加申込:<https://tsuchi-summit.com>

本見学会では、佐賀平野のローカル土である有明粘土層の軟弱地盤対策工事現場見学と前日開催の「土サミット 2023」・第4部の産官学によるパネルディスカッション「災害とローカル土リサイクル」で話題となります。武雄市内豪雨災害、六角川ガタ土処理に関して国交省武雄河川事務所朝日出張所にて説明をいただきます。

その後、我が国最大の遺跡であります「吉野ヶ里遺跡」を見学し、弥生時代 700 年間の移り変わりを知ることができる特別史跡を見学したいと思います。

【スケジュール】10月27日(金)

- 8:45 博多駅筑紫口 集合(集合場所は参加者へ別途連絡)
- 9:00 出発
- 10:15～10:45 佐賀道路軟弱地盤対策工事現場
- 11:20～11:50 国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所朝日出張所
- 12:00～12:50 【昼食】
- 13:30～14:30 吉野ヶ里歴史公園 見学
- 15:30 頃 福岡空港
- 15:50 頃 博多駅

【見学地について】

佐賀道路軟弱地盤対策工事現場

佐賀道路は、地域高規格道路である佐賀唐津道路(国道34号と交差する(仮称)鍋島ICから(仮称)佐賀JCT)の一部を構成する道路であり、全区間(L=4.2km)軟弱地盤(有明粘土層)となっています。見学会では、軟弱地盤対策としての浅層改良+深層混合処理工法の現場を視察するとともに、佐賀県有明海沿岸道路整備事務所より事業説明を受ける予定です。



国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所朝日出張所

六角川流域の低平地においては、非常に軟弱な有明粘土層と有明海の潮汐作用及び潮流作用により「ガタ土」と呼ばれる浮泥がもたらす特異な河床堆積が課題です。このため、軟弱地盤やガタ土堆積の特性とその影響を的確に把握したうえで河川改修や各種河川管理施設の機能維持を行う必要があります。

そのような中、六角川においては令和元年及び令和3年の豪雨を受け、国・県・市町等が連携し「新・六角川水系流域治水プロジェクト」を策定し、それぞれの対策に取り組んでいます。

見学会では、このプロジェクトの取組やガタ土処理(地盤改良、再利用等)について、国土交通省担当者よりご説明頂きます。



～吉野ヶ里歴史公園～ <https://www.yoshinogari.jp/>

吉野ヶ里遺跡とは

紀元前 5 世紀から紀元後 3 世紀までの弥生時代は、日本で稲作の文化が始まり、定住文化が根付いた日本の文化の原点ともいえる時代です。

弥生時代の遺跡の中でも吉野ヶ里遺跡は、佐賀県神埼郡の旧神埼(かんざき)町・旧三田川(みたがわ)町・旧東脊振(ひがしせふり)村の 3 つの町村にまたがった我が国最大の遺跡で、弥生時代における「クニ」の中心的な集落の全貌や、弥生時代 700 年間の移り変わりを知ることができ、日本の古代の歴史を解き明かす上で極めて貴重な資料や情報が集まっています。

これらは日本の様子を記した最古の記録である魏志倭人伝に出てくる「邪馬台国」の時代を彷彿とさせるもので国の特別史跡にも指定されています。

また、有柄銅剣やガラス製管玉等の出土品は国の重要文化財に指定されるなど、高い学術的価値を有するものです

